

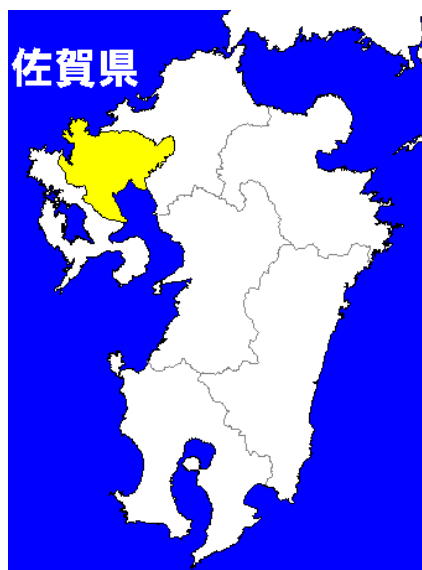
これが佐賀の大会だ！

佐賀さわやかスポレク祭オリエンテーリング大会 2007年5月27日 佐賀県有田町

小比賀健司

S・A・G・A・サガ！

広く知られていないが、佐賀県には良いトレインが多い。そんなトレインをしっかりと地図化。あとは参加者が集まるだけだ。



九州 O-Map 事情

全国的に見ればほとんど情報が入ってこない九州のオリエンテーリング事情ですが、実は福岡県では大会がやたらと多いです。ほとんど毎月のように、

何らかのイベントが開かれています。

ところが問題なのはトレインと地図。イベント数が多いために同じトレインを何度も使うことになってしまうのはやむを得ないのですが、地図のメンテナンスにまで手が回りません。古い地図をリメイクも修正もせず、相違点に目をつぶってだましだまし使っているのが実情です。

その一方で、大会では基本的にニューマップを出してくるのがお隣の佐賀県オリエンテーリング協会。リメイクどころかトレインの新規開拓にも積極的で、昨秋の佐賀県大会でもニュートレインを開拓していました。今回のスポレク祭大会の要項にも、赤で「ニューマップ」の文字が躍っており、自信のほどを伺わせます。

こだわりの佐賀県 OL 協会

今回のトレインは有田市の唐船城址周辺。唐船城公園が会場です。古くからパーマメントコースがあるためニュートレインとはいきませんが、今回1:10000でリメイクのうえOCAD化されたようです。ところが受付で1:2500の「唐船城公園」のO-Mapを渡される。フリーポイント形式のコースが印刷されており、ウォームアップにお使い下さいということらしい。失礼ながらそれほど競技性を重視した大会とは思っていませんでしたので、ちょっと意表を

かれた。

スタートして地図を見る。カラフルな色使いにびっくり。林とオープンが入り交じる複雑な植生のうえ、林の可能性も細かく取られているためカラフルに見えたようだ。しかしここまで細かく描かれているということは、きちんと調査がなされた地図であるという証明でもある。一気に気合いが入る。

コースは唐船城公園をスタートして山を徐々に登っていき、最後にAの林を一気に下らせて会場に戻すレイアウト。終盤はかなり気持ちいい走りが待っているのですが、激しいアップと暑さでそこへ行き着くまでに肉体的にも精神的にもリタイアしてしまう人もいたようです。今日は真夏日でした。

さて、終盤の一気くだりで山登りのつらさを忘れて、さわやかにゴール。するとゴールにはなにやら人だかりが…。拡大マップが掲示されており、ルート検討会が開かれておりました。拡大マップを用意したのはもちろん運営者の佐賀県協会。そこまで気合いが入っているとは！ゴールで受け取った冷えたジュースを片手に、さっそくルート検討の輪に加わりました。



拡大マップを使ったのルート検討会。ウィニングルートを書き込む奥村理也。

上位成績（Aクラスのみ）

個人 A

- 1, 奥村理也 53'53" OLC吉備路
- 2, 長友志朗 81'22" 長崎市OL協会
- 3, 大平峰子 83'15" 博多OLC

個人 AS

- 1, 浅川民雄 68'59" 北九州OLC
- 2, 福田良雄 73'43" OLC吉備路
- 3, 吉田稔道 94'21" 北九州OLC





個人 A 表彰式。東大、京大、筑波大(のOB)が並ぶ様はさながらインカレ表彰式。筑波が女子なのはこ愛敬。

もっと佐賀に来てください！

これほどまでにこだわりのあるとはまったく予想してなかった、気合い入りまくりの佐賀県協会運営の大会。しかしオリエンティア過疎地であるという事実はいかんともしがたく、参加者はわずか 30 名足らず。これほどまでにレベルが高い大会にこれだけしか人が集まらないなんて、もったいなさ過ぎます。本州の皆さん、どうか佐賀の大会に来てください。こんな西の地でここまでレベルの高い大会があったとは。

きっと驚きますよ。



九州最年少オリエンティア！？ しかし来春にはさらに下の世代がデビュー予定。九州 OL 界の未来は明るい？

(小比賀健司)

四国だって負けてはいない

クアハウス今治大会

2007 年 1 月 8 日 / 愛媛県今治市
クアハウス今治と愛媛県オリエンテーリング協会が行われた大会には、昨年を上回る 557 名が参加した。参加者のほとんどは愛媛県から。運営は 10 名で行われた。

今治市民 O 大会

2007 年 3 月 11 日 / 愛媛県玉川町
グリーンピア玉川周辺で行われた。総参加者数 505 名。トレイン内にある小学校の学校行事として参加。春日和に心地よい汗を流した。

毎年この時期に小学生はお別れ遠足としてオリエンテーリングもどきの行事を行っているとのこと。低学年から高学年がグループになり、高学年が低学年の面倒をみながら参加した。タイムレースではなく、規定時間の 2 時間に近いグループを表彰するルールで行われた。

